

**高分子学会九州支部フォーラム**  
**主題＝精密設計されたDDS材料～臨床に使える条件とは何か～**

＜趣旨＞核酸医薬治療の実現には遺伝子（核酸）及びそのデリバリーシステムの研究・開発が必須であり、治療に使える遺伝子の設計、細胞内への輸送方法、細胞や個体レベルでの遺伝子発現の評価、それらを製剤として確立するまでの幅広い領域の研究者が一同に会することが極めて重要だと考えられます。そこで、高分子材料を基盤とした遺伝子デリバリー開発の分野で活躍が目立つ海外・国内の先生方3名の研究者をお招きして、最新の研究成果についてご講演いただきます。

主催：高分子学会九州支部、北九州市立大学

会期：2018年7月30日（月）

会場：北九州市立大学 ひびきのキャンパス 第1会議室

交通：JR鹿児島本線「折尾駅」から北九州市営バス33, 35, 63, 64番に乗車、「学研都市ひびきの」バス停下車

プログラム：

＜13:00～13:30＞ 受付

＜13:30～15:30＞

開会の挨拶（櫻井 和朗,）

招待講演

1) ‘Efficient nucleic acid delivery based on synergetic action of synthetic pyridinium lipids and gemini surfactants’

Marc Ilies (Temple University)

2) “Biological Nanoparticles: Using Exosomes for Personalized Glioma Therapy”

Brittany Parker Kerrigan (The University of Texas M.D. Anderson Cancer Center)

3) “Facts of PEG’s immunogenicity and perspective views for future PEGylation “

Koichi Shiraishi (The Jikei Univ. School of Medicine)

＜15:45～17:00＞

総合討論・ディスカッション

**参加要領**

1) 参加費 無料

2) 申込方法 氏名・所属・学年（役職）・E-mail アドレスをE-mailでお知らせください。

3) 申込締切 2018年7月27日（金）

申込・連絡先：北九州市立大学環境技術研究所 望月 慎一

〒808-0135 福岡県北九州市若松区ひびきの1-1

Tel; +81-93-695-3203, FAX; +81-93-695-3390

E-mail: mochizuki@kitakyu-u.ac.jp